



大企業に適したワークフローシステムの見分け方 ～AgileWorks vs X-point Cloud～

日鉄ソリューションズ株式会社
デジタルテクノロジー&ソリューション事業部

はじめに

稟議申請や経費精算を電子化できるワークフローシステムには様々な製品がありますが、導入を検討される際には次のような疑問をお持ちになるお客様が多いのではないのでしょうか。

- ・ 大企業にはどんな製品が適しているの？
- ・ 大企業向け製品と中小規模企業向け製品、具体的には何が違うの？
- ・ 将来的に適用範囲を広げたいときはどんな製品を選ぶのがいい？

本資料では、エイトレッド社のワークフローシステムである**大企業向け製品「AgileWorks」**にフォーカスし、中小規模企業向け製品「X-point Cloud」と比較しながら、**大企業に適したワークフローシステム**の見分け方をご紹介します。

目次

1) 「AgileWorks」と「X-point Cloud」のご紹介

- ・ AgileWorks（アジャイルワークス）とは
- ・ X-point Cloud（エクスポイントクラウド）とは

2) 大企業にAgileWorksが適している理由

～中小規模企業向け「X-point Cloud」との比較～

- ・ 大企業のワークフローシステムにおいて注目すべき3つの機能
 - ① 人事異動・組織変更の機能
 - ② 承認ルートの定義機能
 - ③ アドオン開発機能
- ・ (参考)AgileWorksとX-point Cloudにおける価格比較

1

「AgileWorks」と「X-point Cloud」のご紹介

AgileWorks (アジャイルワークス) とは

大企業向け。

日本の商習慣に合わせて開発された高機能ワークフローパッケージ。
組織改編やシステム連携、多言語に対応しています。

AgileWorks HOME

仕事 書類作成 検索

処理待ち

全フォーム 出張仮払申請書 契約審査依頼書(初回) 稟議書

書類を開く 別ウィンドウで開く プロパティ 通知フィルター設定 チェック行操作

<全14件> 1 50件表示 処理完了後に自動的に次の書類を表示する

書類管理番号	件名	書類状態	現在のステップ	申請者組織名	申請者名
<input type="checkbox"/> KR2016100002	仙台	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> 2016000002	会計システム新バージョン開発に伴う外注費の伺い	回付中	部長承認	ソフト開発部	榎本和代
<input type="checkbox"/> 2011000018	社員親睦旅行実施の件	回付中	部長承認	営業1部第2課	岸本好
<input type="checkbox"/> 2011000017	パソコン購入の件	回付中	部長承認	営業1部第2課	岸本好
<input type="checkbox"/> 2011000016	営業車両新規導入の件	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	角田淑子
<input type="checkbox"/> 2011000013	モバイル環境推進プロジェクトの稟議	回付中	部長承認	営業1部第2課	岸本好
<input type="checkbox"/> 2011000012	アメリカ市場調査の件	回付中	部長承認	営業1部第2課	岸本好
<input type="checkbox"/> 2014000002	稟議	回付中	部長承認	営業1部第2課	岸本好
<input type="checkbox"/> 2011000010	モバイル環境推進プロジェクトの稟議	回付中	部長承認	営業1部第2課	岸本好
<input type="checkbox"/> KR2011040014	広島	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> KR2011040007	群馬	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> KR2011040006	名古屋	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> KR2011040005	広島	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> KR2011040004	北海道	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> KR2011040002	大阪	回付中	部長承認	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一
<input type="checkbox"/> 2011-04-00000002	株式会社メイクマネー	回付中	申請部署部長	営業1部2課第3チーム	寺崎啓一

▲ホーム画面

出張仮払申請書 - Internet Explorer

申請ユーザー: 寺崎啓一 (u001) 申請組織: 営業1部2課第3チーム 基準日: 2011/04/27 書類状態: 回付中 [部長承認]

出張申請 & 仮払申請書 ATLED

申請者: u001 寺崎啓一 伝票No.: KR2011040014
 所属部門: AG011123 営業1部2課第3チーム 申請日付: 2011年4月27日
 プロジェクト: P2008_09 06インフラ開発
 番号: 13 株式会社テイレコード
 負担部門: DEPT001 営業1部

承認3 承認2 承認1 申請
 11/03/27 11/04/27
 承認 申請

出張期間: 自 2011年4月3日 ~ 2011年4月6日 3泊 4日 目的地: 広島
 目的: サンプルデータです 効果: サンプルデータです
 仮払申請: 80,000円 仮払希望日: 2011年4月1日 支払方法: 現金・振込 予定精算日: 2011年4月8日

日付	要件	乗車区間	交通機関	区分	金額	手	備	考
1		~		片・往				
2		~		片・往				
3		~		片・往				
4		~		片・往				
5		~		片・往				
6		~		片・往				
7		~		片・往				
8		~		片・往				
9		~		片・往				
10		~		片・往				
11		~		片・往				
12		~		片・往				
13		~		片・往				
14		~		片・往				
15		~		片・往				
16		~		片・往				
17		~		片・往				

宿泊手当 1泊目 | 円 + 2泊目以降 | 円 × 泊 = | 円 概算合計

総理 使用欄
 処理日: | 円
 作成者: |

▲申請画面

X-point Cloud(エクスポイントクラウド) とは

中小規模企業向け。

まるで紙に書くような簡単なワークフロー。

クラウドでの利用で、安心、お手軽に始められるサービスです。

The screenshot shows the X-point Cloud home interface. At the top, it displays the user's name '営業一課 勝 太郎(u001)'. A left sidebar contains navigation icons for '提出' (Submit), '検索' (Search), '承認' (Approve), '分類' (Classify), 'クエリ' (Query), 'インフォ' (Info), 'ブックマーク' (Bookmark), and '提出期限' (Submission Deadline). The main area is titled '承認状況' (Approval Status) and shows a list of items with columns for 'No', '件名1', '件名2', and 'フォーム'. The table contains two rows of data.

No	件名1	件名2	フォーム
1328	ウォーターサーバー購入稟議	10,000	稟議書
1213	X02-340/勝 太郎(u001)	営業一課/事務所移転プロジェクト/5,000/10,000	経費精算書

The screenshot shows the '稟議書' (Memorandum) application form. It includes a header with the title '稟議書' and a table for basic information: '起案日' (2021年06月02日), '起案所属名' (営業一課), '起案者名' (勝 太郎(u001)), and '社員番号'. Below this is a section for '件名' (Subject) 'ウォーターサーバー購入稟議' and a description '業務中に水が飲みたいため。'. The form also includes fields for '金額' (Amount) '10,000', '業者' (Vendor), and '支払条件' (Payment Terms). A right sidebar contains various action buttons like '提出', '編集', '下書き', 'コピー', '承認', '却下', '保留', '差し戻し', '承認取戻', 'PDF', '添付', 'コメント', '設定', '次へ', '関連書類', and '開る'.

▲ホーム画面

▲申請画面

ワークフローシステムを検討中のお客様からの声

「大企業にはなぜAgileWorksが適しているの？」



2

大企業にAgileWorksが適している理由

～中小規模企業向け「X-point Cloud」との比較～

大企業のワークフローシステムにおいて注目すべき3つの機能

① 人事異動・組織変更の機能 に注目！

大企業のようにユーザの数・組織の数が増えるほど、人事異動や組織変更時の作業負荷は重くなります。負荷を軽減できる機能を備えているかを確認しましょう。

② 承認ルートの定義機能 に注目！

部署が多く、組織階層も深い大企業では1件の稟議における承認ルートが複雑になることが考えられます。複雑な承認ルートでも簡単に定義できる機能を備えているかを確認しましょう。

③ アドオン開発機能 に注目！

申請件数の数が多い大企業では、1申請の効率化による投資対効果が大きくなります。標準機能に加えて、アドオン開発による他システム連携などを進めることでより大きな投資対効果を得られる可能性があります。開発による製品機能の拡張が可能かを確認しましょう。

豊富な標準機能・優れた拡張性を持つAgileWorksにより、大企業に適したワークフローシステムの実現が可能！

大企業のワークフローシステムにおいて注目すべき3つの機能



人事異動・組織変更の機能

ユーザの数・組織の数が多くなるほど、人事異動や組織変更時の作業負荷は重くなります。
AgileWorksには人事異動や組織変更時の負荷を軽減できる機能が揃っています。

人事異動・組織変更の機能において大企業で求められる主な要件

大企業のように組織やユーザーが多いほど、人事異動や組織変更時の管理者の対応負荷は大きくなります。ミスなく、短時間で対応できる機能を備えたワークフローシステムの導入が望ましいです。人事異動・組織変更の機能においては、以下のポイントで製品を比較することをおすすめします。

1) 組織情報の表示 がわかりやすい

組織数が多くても組織情報を見やすい・探しやすい設計。

2) 人事異動・組織変更の事前準備 が可能

人事異動や組織変更の実行前に設定作業やテストを行うことができる。

3) 閲覧権限の制御 が可能

組織変更や人事異動に伴い、閲覧権限を自動的に付与・消失させることができる。

4) 組織変更時 閲覧権限の変更 の作業負荷が少ない

組織変更時の閲覧権限の変更に関して一度の作業で変更させることができる。

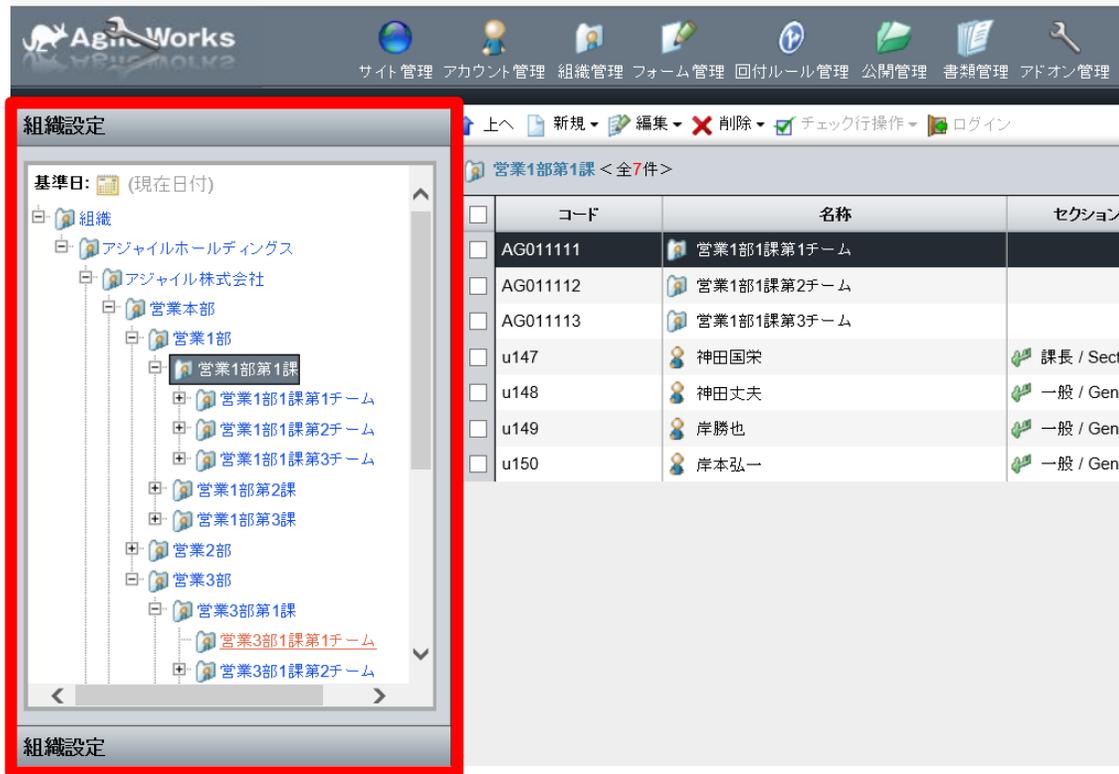
人事異動・組織変更の機能におけるAgileWorksとX-point Cloud機能比較

		AgileWorks	X-point Cloud
1	組織情報の表示 がわかりやすい	ツリー表示	一覧表示
2	人事異動・組織変更の 事前対応が可能	可	不可
3	閲覧権限の制御が可能	変更作業なし (組織、役職、役割に 閲覧権限を付与)	変更作業あり (ユーザ単位で閲覧権限 を付与)
4	組織変更時 閲覧権限の 変更の作業負荷が少ない	変更作業が楽 (組織単位で変更可能)	変更作業が大変 (ユーザ単位でのみ変更可能)



大企業の場合、X-point Cloudの機能では十分に要件を満たさない可能性があります。
AgileWorksには**標準機能として人事異動・組織変更時の作業負荷が軽減できる機能**が揃っており、大企業向きの製品となっています。各要件と対応する機能の詳細について、P13~16で解説します。

1)組織情報の表示がわかりやすい (X-point Cloud・AgileWorks)



The screenshot shows the AgileWorks interface with the '組織設定' (Organization Settings) window open. The left pane displays a hierarchical tree view of the organization structure, including departments like '営業1部' and '営業2部'. The right pane shows a list of users with columns for 'コード' (Code), '名称' (Name), and 'セクション' (Section).

コード	名称	セクション
AG011111	営業1部1課第1チーム	
AG011112	営業1部1課第2チーム	
AG011113	営業1部1課第3チーム	
u147	神田国栄	課長 / Sect
u148	神田丈夫	一般 / Gene
u149	岸勝也	一般 / Gene
u150	岸本弘一	一般 / Gene

AgileWorks

組織をツリー形式で表示。

組織のフォルダがツリー形式で表示されているので、組織数が多くても見やすい設計となっています。



The screenshot shows the X-point Cloud interface for user management. The 'ユーザ管理' (User Management) section displays a 'ユーザグループ一覧' (User Group List) table. A red double-headed arrow points to the 'ユーザグループ名' (User Group Name) column, highlighting the flat list structure.

No	ユーザグループ名	階層	所属ユーザ
1	〇〇株式会社 (A1000)	1	2
2	管理部 (B1000)	2	2
3	総務課 (B1001)	3	2
4	経理課 (B1002)	3	2
5	情報システムグループ (B1003)	3	1
6	営業部 (C1000)	2	1
7	営業一課 (C1001)	3	2
8	営業二課 (C1002)	3	2

X-point Cloud

組織をフラットな一覧形式で表示。

簡単な組織図であればフラットな一覧形式でも見やすいです。しかし、大企業のように組織数が多く、組織階層が深くなると、見づらい・探しづらい場合があります。

2) 人事異動・組織変更の事前準備が可能 (AgileWorks)

AgileWorksは、標準機能で組織や所属に関するデータを履歴として持っているため、「現在の組織」だけではなく、**組織変更後の「未来の組織」も履歴で管理できます。**

この機能により、**未来の組織情報を事前にシステムに設定し、施行前にテストをすることが可能です。**

人事異動や組織変更の施行日の直前にあわせて作業をする必要がなくなり、管理者の作業負荷削減につながります。

組織設定

基準日: 📅 (現在日付)

組織

- アジャイルホールディングス
 - アジャイル株式会社
 - 営業本部
 - 営業1部
 - 営業2部
 - 営業3部
 - システム開発本部
 - 経営管理本部
 - 内部統制室
 - アジャイル銀行株式会社

▼現在の組織

組織設定

基準日: 📅 2050/01/01

組織

- アジャイルホールディングス
 - アジャイル株式会社
 - 営業本部
 - 営業推進部
 - カスタマーサクセスグループ
 - フィールドセールスグループ
 - エーгентセールスグループ
 - 営業1部
 - 営業2部
 - 営業3部

▼未来の組織

4)組織変更時 閲覧権限の変更の作業負荷が少ない (AgileWorks)

組織変更で複数の部署や事業所を合併したり、部署を分割したりする場合、閲覧権限の変更処理はとても大変です。

通常は、元の部署と新しい部署がどこか？といった情報を、稟議書を1件ずつ確認し変更する必要があります。

作業には1週間～1ヶ月かかることが多いです。

AgileWorksは、標準機能で **組織の新旧対応表を定義することで参照権限を一度に変更することができます。**

組織の新旧対応表を作るだけの作業なので、1日もあれば対応可能です。

適用日	移管完了日	旧組織	旧親組織	新組織
2021/10/01		営業2部 (AG011200)	営業本部 (AG011000)	営業1部 (AG011100)
2021/10/01		営業3部 (AG011300)	営業本部 (AG011000)	営業1部 (AG011100)
2021/10/01		ソフト2課 (AG012120)	ソフト開発部 (AG012100)	ソフト1課 (AG012110)
2021/10/01		ソフト3課 (AG012130)	ソフト開発部 (AG012100)	ソフト1課 (AG012110)

旧組織 => 新組織

※参照権限の変更は、申請書の件数が多いほど作業の負荷がかかります。

企業規模にかかわらず、申請件数が多い場合は、人事異動や組織変更の負荷が軽いAgileWorksをご検討いただくことをおすすめします。

大企業のワークフローシステムにおいて注目すべき3つの機能



承認ルート of 定義機能

部署が多く、組織階層も深い大企業では1件の稟議における**承認ルートが複雑**になることが考えられます。

AgileWorksは複雑な承認ルートでも簡単に定義できる機能を備えています。

承認ルート¹の定義機能²において大企業で求められる主な要件

部署が多く、組織階層も深い大企業では1件の稟議における承認ルートが複雑になることが考えられます。プログラム開発をすることなく、標準機能のみで複合条件での分岐や、並列で複数の部門をまたがる承認フローの設定が可能なワークフローシステムの導入が望ましいです。承認ルートの定義機能においては、以下のポイントで製品を比較することをおすすめします。

1) 定義画面の表示 がわかりやすい

2) 多岐分岐 の設定が可能

3) 分岐の合流 の設定が可能

4) 並列 の設定が可能

承認ルート上の定義機能におけるAgileWorksとX-point Cloud機能比較

		AgileWorks	X-point Cloud
1	定義画面の表示 がわかりやすい	グラフィック表示	テキスト表示
2	多岐分岐 の設定が可能	多岐分岐設定が可能	1回のみ設定可能（申請時）
3	分岐の合流 の設定が可能	可	不可
4	並列 の設定が可能	可	不可



大企業の場合、X-point Cloudの機能では十分に要件を満たさない可能性があります。
AgileWorksには**標準機能として複雑な承認ルートを直感的に設定できる機能**が揃っており、大企業向けの製品となっています。AgileWorksとX-Point Cloudの定義機能の詳細について、P20~21で解説します。

AgileWorksの承認ルートへの定義機能

専用GUIツール「FlowEditor」

設定画面にて承認ルートの設定が可能です。ドラッグ&ドロップで簡単に承認ルートを作ることができます。

1つの承認ルートを複数のフォームで共通利用することが可能
承認ルートを修正することで、関連する書類全てに反映
承認ルートの適用開始日を指定できるので、先付メンテナンスが可能

グラフィカルな
設定画面

<条件分岐フロー>
多岐分岐・分岐の合流が可能

承認段階での入力値変化で分岐を
変えるような運用も可能

ドラッグ&ドロップ操
作でアイコンを配置

<並列合議フロー>
複数部門に対し、並行的に
回付可能

<組織異動に強い多様な相対指定>
書類オーナーの考え方に対して組織・
ロールで設定しておくことで、ユー
ザーマスターのメンテナンスのみの運
用を実現

The screenshot displays the Flow Editor interface. At the top, there are menu options like 'ファイル(F)', '編集(E)', and '設定(S)'. Below that, a header bar shows '2017-11-09', '回付ルール', and '承認関連【ring】承認書ルール'. The main workspace is a grid where workflow steps are placed. Steps include '開始' (Start), '作成' (Create), '起案' (Draft), '課長承認' (Section Chief Approval), '部長承認' (Department Chief Approval), '承認' (Approval), '本部長承認' (Section Chief Approval), and '合議部署マ...' (Meeting Department...). The workflow is connected by arrows, showing a path from '開始' through '作成' and '起案' to '課長承認' and '部長承認', then branching into '承認' and '本部長承認', and finally leading to '合議部署マ...'. A red dashed box highlights a section of the workflow. On the right, a settings panel is open for '【C7】財務経理部長承認 - NodeIndex:10'. It contains sections for '回付ルール設定' and 'フォーム設定'. The '回付ルール設定' section includes 'ステップ名称' (財務経理部長承認), '備考' (備考), 'コード' (C10), and '処理者' (処理者). The '処理者' section lists '組織' (組織) and 'ロール/ユーザー' (ロール/ユーザー). The '回付条件' section includes '決定方法' (システムで自動決定), '選択人数' (1), and '回付先を決定できるステップ'. The '完了条件' section includes '決定方法' (1人が承認) and '人数' (1). At the bottom, there is a toolbar with icons for '作成', '申請', '承認', '自動申請', '報告', '閲覧', '保管', '分岐開始', '条件', '分岐合流', '並列開始', '並列', '並列合流', and '終了'.

X-point Cloudの承認ルートのご定義機能

設定画面にて承認ルートのご設定が可能です。

複雑な承認ルート設定には対応していないため、大企業では十分に要件を満たさない可能性があります。

設定画面は
テキスト表示

会社名を入力してください。管理者

メニュー: ユーザーサイトへ | 管理者マニュアル | ログアウト

フォーム管理 > 共通承認ルート > CSVテンプレート > コポーネット > 提出期限 > 督促メール > 自動申請

更新: 2021/06/02 08:55:31

100万円未満規定のルート (0)

参照: 共通承認ルート参照なし

条件: いずれの条件にも当てはまらなかった場合に適用されるルート

	申請STEP	STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	回復
担当者	申請	課長 承認	部長 承認	空ステップ	未定義ステップ	総務課 総務承認	管理部 回復
権限	◎ 閲覧 ◎ 添付	◎ 閲覧 ◎ 却下 ◎ 添付	◎ 編集 ◎ 差し戻し	◎ 閲覧 ◎ 却下 ◎ 添付	◎ 閲覧 ◎ 編集 ◎ 差し戻し	◎ 閲覧 ◎ 編集 ◎ 却下 ◎ 添付	◎ 閲覧 ◎ 編集 ◎ 差し戻し
自動採番	議決書番号					総務受付番号1	
残管理	-	-	-	-	-	-	-
自動記票	-	-	※本人申請(自動承認ルート)と別承認ルート(申請者)が併用可能: なしで提出で既票		-	-	-
ステップ承認条件	AND	AND	AND	AND	AND	AND	
該当者なしの場合	スキップする	スキップする	スキップする	スキップする	スキップする	スキップする	

100万円以上社長承認ルート (0)

参照: 共通承認ルート参照なし

条件: 以下の条件をすべて満たす場合 (AND)
- {金額が1000000以上}

	申請STEP	STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	回復
名称	申請	承認	承認	承認	承認	承認	回復
担当者		課長	部長	社長	未定義ステップ	総務課 総務承認	該当者は設定されていません
権限	◎ 閲覧 ◎ 添付	◎ 閲覧 ◎ 却下 ◎ 添付	◎ 編集 ◎ 差し戻し	◎ 閲覧 ◎ 却下 ◎ 添付	◎ 閲覧 ◎ 編集 ◎ 差し戻し	◎ 閲覧 ◎ 編集 ◎ 却下 ◎ 添付	◎ 閲覧 ◎ 編集 ◎ 差し戻し
自動採番	議決書番号					総務受付番号1	
残管理	-	-	-	-	-	-	-
自動記票	-	-	-	-	-	-	-
ステップ承認条件	AND	AND	AND	AND	AND	AND	
該当者なしの場合	スキップする	スキップする	スキップする	スキップする	スキップする	スキップする	

<条件分岐フロー>

申請時点での1分岐のみ対応。
分岐後は、単純な承認ルートしか設定できない。**分岐合流不可**

(例)

上段は100万円未満の決裁時、下段は100万円以上の決裁時の承認ルート。申請時にどちらのルートで回すのかを自動的に判断。

<並列合議フロー>

複数部門に対する、**並行的な回復は不可**

大企業のワークフローシステムにおいて注目すべき3つの機能

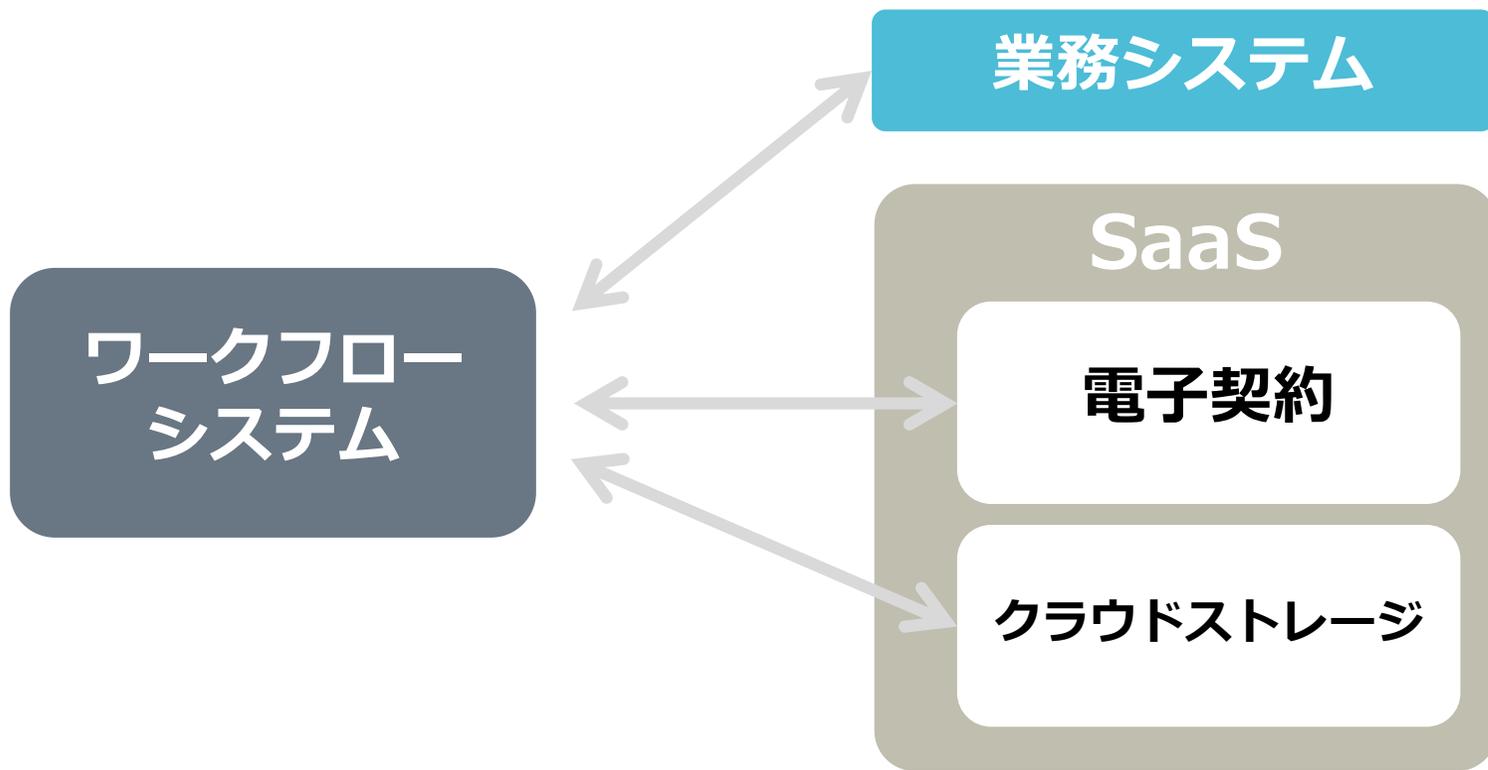


アドオン開発機能

申請件数の数が多い大企業では、1申請の効率化による投資対効果が大きくなります。標準機能に加えて、アドオン開発によってマスタデータや既存の各種システムとの連携などを進めることでより大きな投資対効果が期待できます。**AgileWorks**では開発による製品機能の拡張が可能です。

大企業で求められるアドオン開発機能

申請件数の数が多い大企業では、1申請の効率化による投資対効果が大きくなります。標準機能に加えて、マスタデータや既存の各種システムとの連携等、アドオン開発による製品機能の拡張が可能なワークフローシステムの導入が望ましいです。業務システムや、その他のSaaSシステムと連携することで、社内承認の電子化だけでなく、業務全体での電子化を図り、より多くのメリットを生み出すことができます。



アドオン開発機能におけるAgileWorksとX-point Cloud機能比較

標準機能のみ

X-point Cloud

AgileWorks

標準機能

+

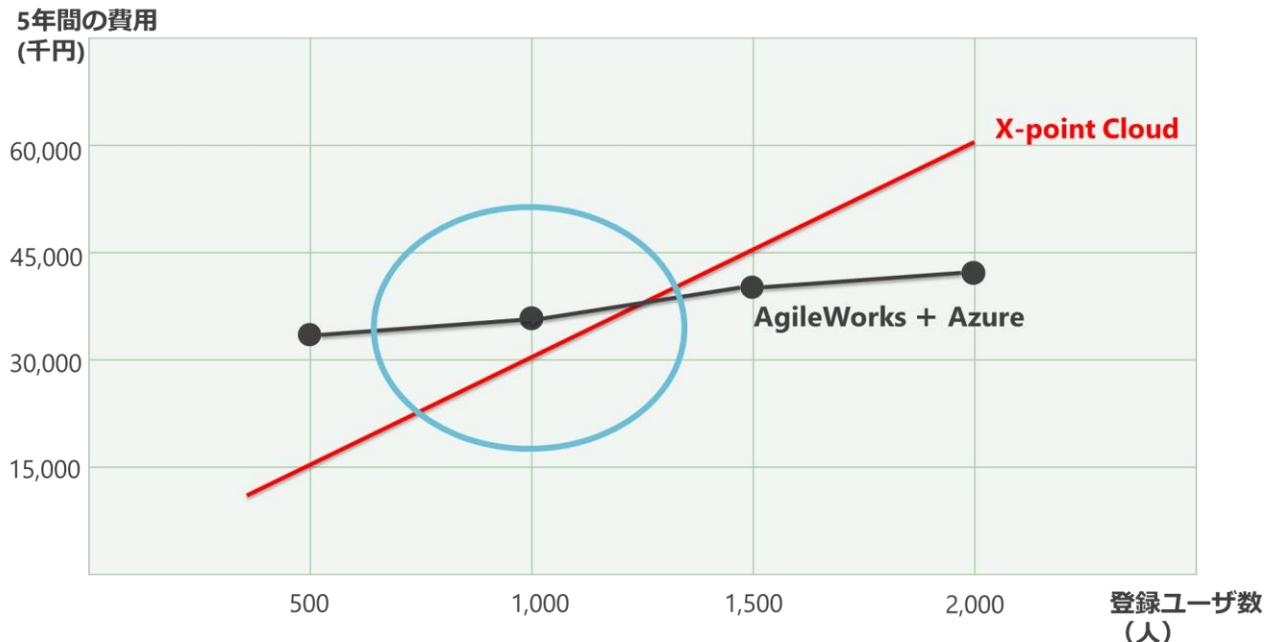
AgileWorks API
アドオン開発（拡張）

X-point Cloudは、アドオン開発はできず、標準機能のみ利用することができます。
一方、AgileWorksは標準機能に加えて、プログラミングにより機能拡張ができます。

申請件数が多いほど、業務効率化等のメリットは大きくなる可能性がある一方で、導入企業の規模にかかわらず、申請件数が多いものをシステム化対象に考えている場合はAgileWorksを検討する価値があると考えています。

AgileWorksのアドオン開発で機能拡張・システム連携した例をP25でご紹介します。

(参考) AgileWorksとX-point Cloudの価格比較



Microsoft Azure上に構築したAgileWorksと、X-pointの5年間の費用を比較したグラフです。

※AgileWorksのライセンスは、同時ログインユーザー数で課金。
同時ログインユーザー数=登録ユーザー×10%として費用を算出しています。

※X-point Cloudは、ユーザー数×月額500円で課金。
登録ユーザー数に比例して費用が増えます。(ユーザー数上限2000名)

※X-point Cloudはインフラ費用込みのSaaSです。
今回の比較においては、AgileWorksのインフラとしてMicrosoft Azureを使用し、Microsoft Azureのサービス利用料を含んだ費用で算出しています。

X-Point Cloudが登録ユーザー数単位での課金、AgileWorksが同時ログインユーザー数単位での課金と課金体系は異なりますが、1000ユーザーを超えてくるとX-Point Cloudの費用がAgileWorksの費用を超える可能性があります。

AgileWorksが組織変更、人事異動、承認フロー、プログラム開発など機能が豊富なことを踏まえると、大企業（ユーザー1000名以上）では、AgileWorksのほうがコストメリットをだしやすい傾向にあると考えています。

ワークフローに関するお問い合わせフォーム：

<https://www.marketing.nssol.nipponsteel.com/workflow/inquiry/>



NS Solutions

ともに、その先の答えを

- ・ NS (ロゴ)、NSSOL、NS Solutions、CONTRACTHUBは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ 「X-point Cloud」、「AgileWorks」は、株式会社エイトレッドの登録商標または商標です。
- ・ 「Microsoft」、「Microsoft Azure」ならびにすべてのMicrosoftの商標およびロゴは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporation またはその関連会社の登録商標または商標です。
- ・ その他本文記載の会社名及び製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。